

平成30年度
事業計画書

公益財団法人燕三条地場産業振興センター

【1】新市場販路開拓事業

○ 事業費：21,336 千円

○ 財 源：事業収入 5,760 千円 市負担金 15,576 千円

☆ 事業の重点

- ◇ センター職員が他地域の発注案件を有する企業や成長ビジネス関連分野などの有力企業への訪問や他地域展示会に出展し、燕三条地域の加工技術等を PR して新規受注獲得につなげる。
- ◇ 技術系展示会へ地域企業と共同出展して地域産業の PR を行い、地域企業の販路拡大を推進する。

(1) 受注促進・販路開拓支援事業

(事業費：21,336 千円 財源：事業収入 5,760 千円 市負担金 15,576 千円)

① 地域外企業訪問による受注促進

地域で対応可能な案件を有する成長産業分野の企業等への個別訪問

② 販路開拓コーディネーターとの連携による受注促進

1) 首都圏における新規案件の情報収集

2) 有力企業への当地域企業の PR と受注開拓

目標値：引き合い件数 700 件、成約件数 60 件

③ 燕三条地域企業との技術系展示会への共同出展による受注促進

機械要素技術展及び関西機械要素技術展に地域企業と共同出展し、地域産業の PR を行い、地域企業の受注促進を図る。

【出展展示会】

	時期	期間	小間数	共同 出展	目標件数	
					引合い	成約
機械要素技術展	6 月	3 日間	7 小間	23 社	225 件	24 件
関西機械要素技術展	10 月	3 日間	3 小間	9 社	80 件	10 件

④ 他地域展示会出展による受注促進【新規】

産業集積地で開催される展示会に出展して地域産業の PR を行い、地域企業の受注促進を図る。

	時期	期間	小間数	目標件数	
				引合い	成約
おおた工業フェア 2019	2 月	3 日間	1 小間	20 件	3 件

⑤ ものづくり企業ナビの情報拡充

登録企業の情報更新と併せて企業の「強み」を経営者や担当者と共に考え、その強みをものづくり企業ナビに反映し、検索時の絞り込みの効果的なツールとする。

⑥ 地域内外企業への情報提供

1) 登録企業約 670 社に引合い・セミナー案内、産業振興部の活動報告などを掲載したリサーチコア通信を FAX 送信し、地域企業の事業活動を支援する。

2) 展示会などで名刺交換した企業担当者及び企業訪問で面会した担当者に対し、燕三条地域企業の加工技術や新商品、展示会出展情報を電子メールなどで紹介し、展示会への来場及び燕三条地域企業への問い合わせを促すきっかけとする。

【2】 企業開発力強化事業

○ 事業費：65,663 千円

○ 財 源：事業収入 15,984 千円

市負担金 36,316 千円 民間助成金収入 600 千円

☆ 事業の重点

◇ ものづくり革新会議を主軸として地域企業の開発テーマを掘り起こし、地域企業が新分野に進出するため開発力の強化を目指す。

◇ 日本海側最大級の展示商談会「燕三条ものづくりメッセ」を開催し、燕三条地域企業の技術力発信とビジネスマッチングを促進する。

(1) 産学連携共同研究開発事業

(事業費：5,545 千円 財源：事業収入 1,674 千円 市負担金 3,271 千円

民間助成金収入 600 千円)

当地域企業が有する潜在的な技術力と新しい技術の相乗効果による開発力の強化を目標として、大学等と連携して産学共同開発を推進する。

① ものづくり革新会議

当地域の技術開発力を高めて持続的な発展をめざすための中核的研究会とする。具体的には設計・デザイン分科会、材料分科会、加工の3分科会での調査研究活動を進め、当地域で今後取り組む技術テーマの設定につなげる。

② 専門研究会

1) 3D プリンター活用技術研究会

試作や部品用として使われている樹脂系 3D プリンターを使いこなす周辺技術の開発等を行う。特に地域企業と関係が深い金属系の造形技術動向についても継続的に情報提供を進める。

2) 溶接・接合技術研究会

生産技術力の向上に資するため最新の溶接技術情報の提供や有力企業の工場視察等を行う。

3) 表面処理技術研究会

当地域の基盤技術であるめっき、陽極酸化、黒染めなどの表面処理について、前処理技術や、品質保証のための分析評価技術の紹介や普及を進める。

4) IoT センシング技術研究会

生産現場の IoT(インターネットを使って生産や商品の管理などを行うこと)や製品の IoT 化などについて、参加企業自身が装置を構築できるようにするための基礎実験や情報提供等を行う。

5) カutting技術研究会【新規】

CFRP など複合材料の切断、切削など、従来の加工技術では対応が困難な材料の加工技術を探求する。

(2) 技術開発総合支援事業

(事業費：6,662 千円 財源：事業収入 1,610 千円 市負担金 5,052 千円)

地域企業が抱える課題の解決や技術開発、生産性や利益率向上を技術的な側面から支援することを目的とする。

① 知的財産権相談

当地域企業の開発製品や製造技術などの特許、意匠、商標について、専門家からの助言をいただく特許相談会を定期的実施する。また、相談の多い事案を元に知財セミナーなどの開催を検討する。

② 技術専門家派遣

企業や大学教員のOB等の専門家による技術指導によって、地域企業の課題解決と体質強化を促進する。また、開発案件への対応に重点を置いて専門家を派遣する。

③ 職員による技術相談

地域企業から寄せられる加工上の不具合対策や各種の技術的な相談に対して対応する。また、相談対応が、地域企業の課題解決によるノウハウ蓄積や技術開発に結びつくよう注力する。

④ 機器利用促進

設備導入に合わせた説明会の開催等を行い機器利用促進に努める。技術相談時などに機器を活用することで地域企業の技術力向上や利用促進に結びつける。

⑤ 新規設備導入【新規】

学識経験者などで構成される設備導入検討委員会により機器仕様を決定し、機器を導入して供用を開始する。

(3) 燕三条ものづくりメッセ開催事業

(事業費：53,456千円 財源：事業収入12,700千円 市負担金27,993千円
寄付金収入1,000千円)

地域出展企業と来場者等とのビジネスマッチングを目的とした展示商談会を開催する。地域外からの来場者増と商談件数増に注力する。

なお、第5回目となる今回は、地場産業振興センター開設30周年を記念し、会場を拡充して開催する。

① 名称：燕三条地場産業振興センター開設30周年記念

燕三条ものづくりメッセ2018

② 会期：平成30年10月24日(水)～26日(金)

③ 会場：燕三条地場産センターメッセピア多目的大ホール、特設大テント 2棟
三条商工会議所 チェンバーズホール他

④ 出展規模：290社程度

⑤ 出展団体：燕三条地域で優れた技術を有しながら未出展の企業の出展を促す。

- ・ 燕三条地域企業：150社(平成29年度125社)
- ・ 燕三条地域外企業：120社(平成29年度126社)
- ・ 大学、業界団体、ソリューションなど：20団体(平成29年度23団体)

⑥ 来場者数：目標10,000名

(平成29年度 11,267名 平成28年度 8,651名 平成27年度 5,816名
平成26年度 5,354名)

⑦ 展示会概要

- ・ 展示会での商談、ビジネスマッチング
- ・ 学会連携講演会
- ・ 著名人による特別講演
- ・ 技術系競技会
- ・ ものづくり革新会議特別シンポジウム

【3】 燕三条ブランド推進事業

○ 事業費：56,787 千円

○ 財 源：事業収入 514 千円

市負担金 55,573 千円 県補助金収入 700 千円

☆ 事業の重点

- ◇ 燕三条 Wing を、燕三条産業の見える化、見せる化による発信の場として整備し、ブランド力の向上を図る。
- ◇ 燕三条プライドプロジェクトによりさらなる地域の魅力づくりと発信を進める。
- ◇ 地域資源を活用した商品開発ワークショップや、デザイン賞取得への支援などを通じて、「ものづくりのまち 燕三条」の基盤強化を進める。
- ◇ 「燕三条 工場の祭典」実行委員会事務局として、実施に向け支援する。

(1) 燕三条ブランド推進事業

(事業費：56,787 千円 財源：事業収入 514 千円 市負担金 55,573 千円
県補助金収入 700 千円)

① 「燕三条 工場の祭典」

燕三条地域産業のイメージアップと製品 PR を図るため、地域企業や市と連携して一般来場者へ工場を開放する燕三条工場の祭典実行委員会事務局を担う。地域企業の生産現場を全国から集まる消費者やバイヤー等から見ていただき、高品質な燕三条製品への理解と燕三条地域産業の認知度を向上し、販路拡大を目指す。

② 燕三条 Wing の発信力強化【新規】

燕三条の産業観光、企業、技術を発信する場としくみの整備を行い、燕三条ブランドの推進を図る。

③ プライドプロジェクト事業

各種プライドプロジェクトの支援により燕三条ブランドの推進を図る。

- ・ 朝カフェなどの企画運営
- ・ 燕三条まちあるきの企画運営
- ・ グリーンツーリズム事業の支援
- ・ ブランディングアートプロジェクトの実施
- ・ 地域開発力 PR のための逸品開発プロダクトの GINZA6 出展支援【新規】

④ デザインギャラリーの運用

国内外デザイン賞を受賞した商品等の展示により地域の PR を行う。

⑤ プロユース向け商品開発事業

首都圏で活躍する情報発信力・著名性の高いシェフ 2 名と地域企業によるプロ向け商品開発ワークショップを開催。プロの使い手のニーズを汲んだ開発力の強化と、発信力の高いシェフを介した小ロット特注品に訴求し、燕三条ブランドの基盤強化を図る。

⑥ 国内デザイン賞取得支援

グッドデザイン賞へ取組む企業を増やす為、応募説明会の開催・申込みに対するアドバイスを行う。また、地元のほか、丸の内グッドデザインストアでの受賞イベントを開催し、全国屈指の受賞数を誇る燕三条のデザイン開発力を PR する。

⑦ 商品企画・デザイン個別相談

地域企業からの商品企画、デザイン開発の相談対応や外部デザイナーとのマッチングを行い、地域ブランド力向上の基盤となる開発力向上を支援する。

⑧ 燕三条ブランドマーク使用認証の推進

燕三条ブランドの拡大ため、燕三条ブランドマークの周知と使用認証の推進を図る。

⑨ 地域デザイン団体活動支援

燕三条デザイン研究会・つばめデザイン研究会の活動に対するサポートを行う。

【4】企業人材育成事業

○ 事業費：13,298 千円

○ 財 源：事業収入 4,596 千円 市負担金 8,702 千円

☆ 事業の重点

◇ 地域企業の人材育成を支援するため、新入社員から中堅技術者を対象とした技術研修や事務・営業系社員を対象とした情報・経営系研修を開催し、基礎力の嵩上げを狙う。

◇ 新事業立ち上げや新製品開発などを戦略的に支援するため、継続的に専門家を派遣して対応する。

(1) 技術力強化支援事業

(事業費：3,525 千円 財源：事業収入 3,525 千円)

地域企業の人材育成と開発力向上を図るため、新入社員から中堅技術者を主なターゲットとした各種技術研修を開催する。

① 新人基礎コース（1コース）

1) 図面の見方と金属材料と加工基礎講座（6時間×3日間、15名）

② 技術基礎コース（5コース）

1) 金属材料基礎講座（2時間×12日間、20名）

2) 図面の見方・描き方入門講座

（2時間×9日間 前期コース 15名 後期コース 15名）

3) 製造現場に必要な数学・物理・化学の基礎講座（2時間×5日間、15名）

4) CAE 入門講座（3時間×3日間、15名）

5) 設計・製図基礎講座【新規】（3時間×3日間、15名）

③ 専門分野集中研修コース（5コース）

1) 溶接技術集中講座（3時間×3日間、15名）

2) プレス加工集中講座（3時間×4日間、15名）

3) 表面処理集中講座（3時間×3日間、15名）

4) 熱処理集中講座（3時間×3日間、15名）

5) 知財活用技術講座（3時間×3日間、10名）

④ 生産現場に対応する技術マネジメントコース（1コース）

1) 燕三条ものづくり現場改善基礎講座（2時間×6日間、20名）

(2) 経営力強化支援事業

(財源：9,773 千円 財源：事業収入 1,071 千円 市負担金 8,702 千円)

① 企業向け情報・経営系研修会の開催（8コース）

業務に活用できる企業向け研修会を開催する。

〈情報系〉

1) エクセル活用講座（2h×5回、10名）

2) ネット販売のための商品撮影講座（2h×3回、10名）

3) イラストレーター講座（2h×3回、10名）

4) 画像処理講座（2h×3回、10名）

5) WordPress 入門講座【新規】（2h×4回、10名）

〈経営系〉

- 6) 若手社員のコスト意識の育成講座(2h×3回、10名)
- 7) 営業力強化セミナー(2h×3回、15名)
- 8) 事務職のための業務改善研修【新規】(2h×3回、10名)

② 経営力強化のための個別相談事業

地域企業からの生産管理、顧客満足(CS)、商品企画、IT活用などの企業経営に関する相談に対応するため、直接企業へ専門家を派遣して個別に指導・助言を行う。

③ 戦略的事業創出プロジェクト

燕三条地域企業の新分野進出や新事業立ち上げに際して専門家を継続派遣して戦略的に支援する。

(3) その他

① 広報活動の強化

- 1) 広報誌リサーチコアレポートを年3回程度発行し、リサーチコアの企業向け各種支援事業のPRを行い、リサーチコアの利用促進を図る。
- 2) 燕三条地域の各支援機関が実施する各種研修事業を、目的別に全コースを掲載したパンフレットを作成する。
- 3) センター事業/展示会等イベント/企業支援制度/研修・セミナー/経済・景況情報などをホームページに「ビジネス情報提供」として掲載する。また、毎月配信しているメールマガジンにおいても同内容の情報を配信して、リサーチコアの利用促進を行う。

② ホームページ・フリースポットの管理・運営

- 1) センターにて運用している各種ホームページの更新・改訂および管理を行う。
- 2) センターおよび燕三条Wingのフリースポットの管理・運営を行う。

③ 情報関連機器の維持管理他

- 1) 各種サーバ、IT機器のメンテナンスとバックアップ。
- 2) センター内ネットワークの維持管理

【5】海外販路支援事業

○ 事業費：54,048 千円

○ 財 源：事業収入 800 千円 市負担金 53,248 千円

☆ 事業の重点

- ◇ 将来的な外部環境変化に対応し得る、中長期的な海外展開戦略を策定する。
- ◇ シンガポール共同事務所を拠点とした東アジアでの展開を推進すると共に欧州で開催される展示会に出展し、販路拡大を図る。
- ◇ 相互補完可能な海外他地域との連携を調査し、最終製品以外の海外ビジネスマッチングを図る。
- ◇ 海外留学生の活用と連携により長期的な海外販路開拓・インバウンドに繋げる。

(1) 海外販路支援事業

(事業費：54,048 千円 財源：事業収入 800 千円 市負担金 53,248 千円)

① 海外展開に関する相談対応

海外事業に関する相談窓口として販路開拓等の活動支援を行う。

② 燕三条の海外展開戦略の策定

外部有識者・支援機関・金融機関等の有識者及び地域の業界団体代表者等をメンバーとする「燕三条海外展開戦略会議」の開催と調査ミッションの実施により、中長期的な海外展開戦略の取りまとめ、報告会を開催する。

③ 燕三条製品の海外販路開拓支援

シンガポール共同事務所を拠点とした東アジアでの販路開拓を推進すると共に、中国 EC プラットフォームの活用、欧州での世界最大の消費財見本市への出展に取り組む。

1) シンガポール及び周辺国からバイヤー招聘（ジェトロ共催）【新規】

2) 中国 EC プラットフォームの活用（成都・重慶）

3) アンビエンテ 2019 ドイツ（2月）

④ 台湾との交流連携調査【新規】

JETRO RIT 事前調査事業を活用し、台湾・金属工業研究発展センター（MIRDC）との連携の可能性及び方策を調査、将来的に業務提携を目指す。

⑤ インバウンド事業の実施

ビジットジャパン事業・外務省事業などを活用した招聘事業や、現地での PR を行い、海外旅行者の誘客を図る。

1) 台湾・タイ旅行社へのセールスコールの実施【新規】

2) シンガポール誘客セミナーの開催【新規】

3) 在日外交団地方視察ツアーの受入（外務省事業）

4) ビジットジャパン事業への参画（シンガポール）

⑥ 海外展開に関するセミナーの開催

海外展開に必要な知識習得の場として、企業ニーズに即したセミナーを地元業界団体（貿易振興会及び各業界団体等）と連携して開催する。

また、海外マーケットに向けたブランド力強化の為、国際デザイン賞（IF デザイン

賞など) 取得に向けた説明会を開催する。

⑦ 外国人留学生との交流

長期的な海外販路開拓、インバウンドへと繋げる為、外国人留学生とのネットワーク作りを推進する。

- 1) 地域企業のモニタリングツアー開催 【新規】
- 2) 留学生活用セミナーの開催 【新規】

【6】需要開拓事業

○ 事業費：450,569 千円

○ 財 源：事業収入 534,962 千円

☆ 事業の重点

◇ 「ものづくりのまち燕三条」を代表する観光物産館を目指し、新商品や消費者購買動向の情報収集を行い、地場産業に関連する実演や工房を開催することにより燕三条の魅力を表現する。また、外国人観光案内所の認可を受け、訪日旅行者の利便性を高めることで、インバウンド誘致を強化し、燕三条観光の拠点となる場を形成する。

◇ 燕三条駅観光物産センター事業ではデザイン性の優れた商品などを展示販売することで、燕三条の認知度向上及びイメージアップを図る。

(1) 展示・即売事業

(事業費：383,845 千円 財源：事業収入 461,554 千円)

- ① 包丁研ぎ等の実演やスプーン研磨体験の他、新商品モニタリング等の場を提供することで、「ものづくりのまち燕三条」を代表する観光物産館に相応しい店舗を目指す。
- ② 新商品や話題商品を広く PR するための各種イベントや、季節感のある道の駅イベントを開催し地域観光拠点の場を確立する。
- ③ 外国人観光案内所（カテゴリー1）の認可を受け、訪日旅行者の利便性を向上させ、インバウンド誘致を強化する。【新規】
- ④ 多くの中国人が利用するスマホ決済サービスの WeChatpay を導入し、免税店の利活用と併せ訪日旅行者が購入しやすい環境を整える。【新規】

(2) 燕三条駅観光物産センター事業

(事業費：66,724 千円 財源：事業収入 73,408 千円)

- ① 新幹線利用者を中心に G マーク受賞商品等を展示即売する他、新商品や話題性のある商品を展開し、地場製品の PR を行う。
- ② 多くの中国人が利用するスマホ決済サービスの WeChatpay を導入し、免税店の利活用と併せ訪日旅行者が購入しやすい環境を整える。【新規】
- ③ 店内にデモンストレーションコーナーを定期的に設け、燕三条製品の良さを来館者へ PR する。
- ④ 来館者が観て楽しめるような、ものづくりのまちとして PR できる実演会を企画、実施する。

【7】収益事業

- 事業費：117,688 千円
- 財 源：事業収入 167,030 千円

☆ 事業の重点

- ◇ 他地域の地場産センターや道の駅と連携したイベントを開催し、多くの集客を図ることで集約的に燕三条製品のPRを行い、地域経済の活性化を促進する。
- ◇ 営業活動を充実させ利用率の向上を図るとともにお客様とのコミュニケーションを大切にし、満足していただけるサービスを心がける。
- ◇ 燕三条製のテーブルウェアで、地元食材の素材を生かした四季折々の料理を楽しむ、使って・食べて満足していただけるレストランづくりに努める。

(1) 他地域連携販売事業

(事業費：27,880 千円 財源：事業収入 32,750 千円)

他地域の地場産センターまたは他道の駅と連携した魅力あるイベントを開催し、多くの集客を図ることで集約的に燕三条製品の販売拡大を行うと同時に、地場産業に関連するイベントを併設することで、「ものづくりのまち燕三条」を効果的にPRする。

(2) 貸館事業

(事業費：21,754 千円 財源：事業収入 65,580 千円)

- ① 多目的大ホールを中心とした営業活動を充実する。
- ② Google ストリートビューを利用したの会場PRを行なう。
- ③ 全国会場 Navi、見本市展示会総合ハンドブックへ広告を掲載し展示会などを誘致する。
- ④ 利用者へのサポートを強化し顧客満足度を上げるよう努める。

(3) レストラン運営事業

(事業費：68,054 千円 財源：事業収入 68,700 千円)

- ① 燕三条製テーブルウェアで、食事を楽しんでいただける店づくりに努める。
- ② 地元食材の素材を生かし、四季を感じていただける美味しい料理を提供する。
- ③ 設利用者の方々に、利用会場へ飲食サービスを行う。
- ④ 地場産センター発のお土産品を開発し販売する。

※レストランを特別なお客様に対応できる空間を含む体験型のレストランに再構築することとし、専門的なノウハウを有する民間業者を対象に企画運営業務委託コンペを実施する。